

AXIOLEによるネットワーク認証アカウント管理のご案内

菅 浩憲
株式会社ネッツスプリング
E-mail: kan@netspring.co.jp

概要：様々なサービスがネットワーク上で提供されるに伴い、アカウントの一元管理は管理者・利用者の双方の利便性向上に有効です。しかし、アカウントの一元管理でよく利用されるLDAPは、まだまだ導入や運用のハードルが高いことも事実です。本文では、認証サーバのアプライアンスであるAXIOLEとその導入事例をご紹介します。

キーワード：ネットワーク認証、アカウント管理、アプライアンス

1. アカウント管理の現状と課題

近年、大学でもさまざまなサービスがネットワーク上で提供されるようになってきました。また、大学の全構成員が何らかの形で学内のネットワークを利用することは、今となつてはごく普通のこととなりました。

このような状態でサービス毎にアカウントを管理していることは、管理者・利用者の双方に多大な負担を強いることとなります。

一方で、アカウントを統合管理するための施策としてLDAPの導入は効果的ですが、実際には、導入コスト・運用管理コストの面でまだまだハードルが高いことも事実です。

クサポート機能

- ・パスワード強度チェック
- ・Active Directory®への反映機能

これらの機能によって、管理者は効率よくアカウントを管理することが可能です。

また、利用者向けのWeb画面から、利用者は以下の操作を行うことができます。

- ・パスワードの変更
- ・パスワードの再発行

これらの機能によって、利用者の利便性を向上するとともに管理者の負担を軽減することが可能です。

2. AXIOLEのご紹介

AXIOLEは、アカウントの統合管理を容易に導入・運用できることを目的とした認証サーバアプライアンス製品です。

AXIOLEは、AXIOLEに登録されているアカウント情報でLDAPおよびRADIUSの認証をおこなうことができます。アカウント管理を含めた設定・運用は、日本語のWeb画面から行うことが可能で、一般的なLDAP製品と比較して容易に扱えることが特長です。

以下、機能の一部を紹介します。

2.2. LDAP機能のより高度な利用

AXIOLEは、LDAPでの認証が行えるとはいえ、アカウント管理に特化した製品のため、一般的なLDAPサーバのような汎用性には欠けることがあります。それを補うために、オプションとして「LDAPスキーマオプション」を用意しています。LDAPスキーマオプションでは以下の機能によって、AXIOLEをより高度に利用することができるようになります。

2.1. アカウント管理に特化した機能

AXIOLEはアカウント管理に有用な様々な機能を提供します。

- ・アカウント管理のみが可能な管理者ユーザの作成
- ・検索機能
- ・ライフタイム（有効期間の設定）機能
- ・テキストファイルからのインポート・エクスポート機能

- ・アカウントデータへの任意のスキーマ定義の追加
- ・LDAPプロトコルを介したアカウントデータの追加・更新・削除

これらの機能によって、独自のLDAP属性を必要とするネットワークサービスや機器との連携が可能になります。

3. 導入事例のご紹介

AXIOLEは、大学様のみならず企業様での導入も進んでいます。

以下、導入事例を幾つかご紹介します。

3.1. 各事例のご紹介

3.1.1. 事例1

大学の導入事例です。

こちらの大学では、全構成員10,000以上のアカウントをAXIOLEで管理しています。

AXIOLEは2台で冗長化されています。

PostfixやSquirrelMailなどのメール環境をはじめ、LinuxやSolarisのPOSIX認証、Moodle、VPN装置など様々なネットワークサービスや機器の認証がAXIOLEのアカウント情報によって行われています。

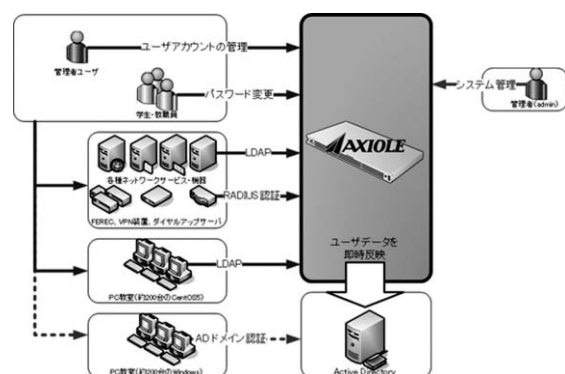


図1 事例1の機器構成

本環境の構築は、移行前のSolaris9の/etc/passwdと/etc/shadowをAXIOLEにインポートすることなどによって約半日程度で作業が完了しています。

3.1.2. 事例2

高専の導入事例です。

AXIOLEの導入には、当初ネットワーク機器毎にアカウント管理をされていましたが、機器の増加に伴い管理者の負担が増えてきたという背景がありました。

規模は全構成員2,000、AXIOLEは2台で冗長化されています。

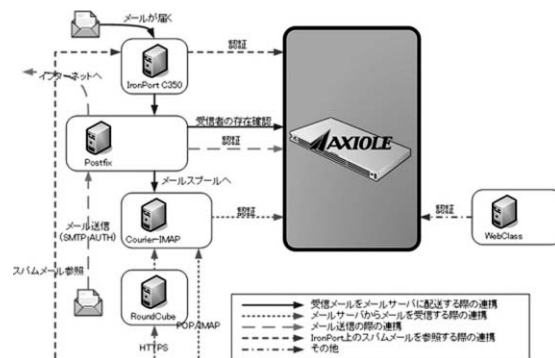


図2 事例2の機器構成

3.1.3. 事例3

企業の導入事例です。

事例2のメール関連の機器が、ミラポイント社のメールアプライアンス製品になっているのが特徴です。

ミラポイント社のアプライアンス製品は、LDAPと連携する際には独自のスキーマ定義を追加する必要がありますが、AXIOLEではLDAPスキーマオプションを使用することで、このような機器とも容易に連携することが可能です。

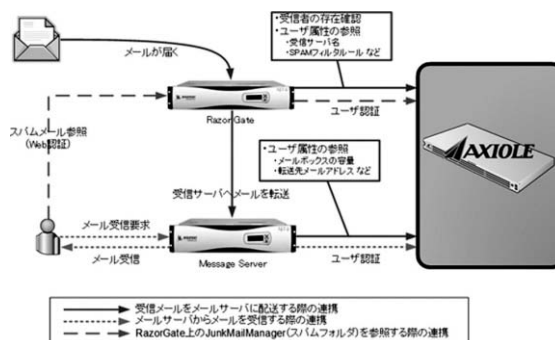


図3 事例3の機器構成

本環境への移行は、約半日程度で完了しています。

4. まとめ

上記の事例に限らず、AXIOLEの導入事例の多くは、導入から運用開始までの簡便さに特長があると言えます。

OSおよび関連ソフトの導入やメンテナンスが不要なことに加え、平易なWeb画面で設定を行えることで、短期間での環境構築が可能です。

以上